



令和五年

新年の

ごあいさつ

「DREAMS
COME
TRUE」

上島町の皆さま、明けましておめでとうござい
ます。

新たな初春に、久しぶ
りの穏やかな笑顔の中で、
明るく居心地のよい時間を



過ごされているのではない
でしょうか。

さて、昨年の私の行政活
動は、新たなオミクロン株
の影響が続いたものの、各
団体の全国大会が3年ぶり
に開催される環境となり、
国や県に対して積極的に働
きかけることができました。

本年、あるいは来年度に
はその活動が町民の皆さま
へ「実」となってお知らせ
できるものと考えていま
す。

町内に目を向けると、昨
年の新年挨拶でお伝えした
岩城橋が3月20日に完成
し、上島町民の長年の夢で
あった「ゆめしま海道」が

全線開通いたしました。サ
イクリストをはじめとする

町外からの観光客が交流人
口としても大幅に増加した
だけではなく、町民の交流
が活発になったことで、経
済の「実需」として感じ取
ることができるようになり
ました。あらためて、上島
架橋岩城弓削線、ゆめしま

海道開通のためにご尽力い
ただいた皆さまに心から御
礼を申し上げ、永く町民の
足として尽力されてきた民
間航路関係者の皆さまに感
謝申し上げます。

上島町の財政状況は、平
成30年から令和2年までの
3年間で、基金（定期預
金）が約8億円も減少する



上島町長
上村 俊之



上島町議会議長
前田 省二

新年あけましておめでと
うございます。

令和5年の新春を迎える
にあたり、町議会を代表い
たしまして謹んでお慶びを
申し上げます。

町民の皆さまにおかれま
しては、平素から、町議会
に對しまして温かいご支援
を賜り、心より感謝とお礼
を申し上げます。

昨年は、町内においても
新型コロナウイルスが猛威
を振るい、先行きが見えず
不安な年となりました。コ
ロナ禍にあって、最前線で
ご奮闘いただいている医
療・介護等エッセンシャル
ワーカーの皆さま、また、
地域経済の維持と回復に向
けてご尽力いただいている

など、厳しい状況でありま
したが、「入（い）るを図
りて出（い）ずるを制す」
という財政規律を基本に立
ち戻った結果、徐々に持ち
直しており、基金も積み増
しができたことなどによ
り、将来への負担も軽くな
ってきています。

今後も上島町の将来のた
め、未来を担う子ども達の
ためにも、痛みをともなう
改革も必要になってくるこ
とがあるかも知れませんが
で、町民の皆さまのご理解
をよりよくお願い申し上げ
ます。

新型コロナウイルス感染
症は各方面に大きなマイナ
スの要素をもたらしました
が、プラス面もありまし
た。

都市一極集中から地方へ
関心が広がったこともその
ひとつです。都心でなくて
もリモートワークで対応で
きることで、ワーケーション
という手段が認知され、二
拠点生活（デュアルライ
フ）が浸透し始めていま
す。

都心では合理性ばかりを

追求せざるを得なくなり、
物足りなさや不安を感じる
ため、都会とは全く違う環
境の中に、心のゆとりが持
てる空間を持ちたいと考え
ている方も多くなっていま
す。

現在、上島町へ移住して
いる方々からは、上島町は
それに適合する最もよい場
所であるとお話を聞きま
す。

上島町は災害が少なく、
温暖な気候で、おもてなし
の精神に溢れた人々の集ま
りです。上島町には「アイ
ランド・オブ・ドリームス」
の曲が流れています。

上島町は、ゆめしま海道が
全線開通したように、夢を
叶えることができる島々で
す。

上島町長
上村 俊之

いさつとさせていただきます。

上島町議会議長
前田 省二



上島町議会											
議長						副議長					
前田 省二						藏谷 重文					
池本 興治	濱田 高嘉	亀井 文男	大西 幸江	池本 光章	林 康彦	宮地 利雄	山上 耕司	藤田 徹也	林 敬生	徳永 貴久	